授業科目	* グラマー・コン	ノポジション I					単位		2
履修	必修	関連資格	中一種免語教員	(英語)高·	一種免(英語	語)日本	ナンバリン	ノ グ	EN11103J
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-2				
担当教員	塚本 美紀								
授業概要	英文法の理解は授業では、毎週元法の定着と運用	テーマとなる文法	項目のポイ						
学生が達成すべき 行動目標		D基礎(用法・機 :文法知識を基に					明すること	ができる。	
			達成度	評価					
評価と評価割合/ 評価方法		試験	小テスト	レポート	発表(ロ 頭、プレ ゼンテ ーショ ン)	レポート 外の提 出物	その他	合計	備考
総合評価割合		50	30	0	5	15	0	100	
知識•理解 (DP1-1)								
知識•理解 (DP1-2)	50	30	0	5	15	0	100	
知識·理解 (DP1-3)									
知識•理解 (DP1-4)								
思考•判断 (DP2-1)								
思考•判断 (DP2-2)								
関心•意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)									
態度(DP4-2)									
態度 (DP4-3)									
技能•表現 (DP5-1)								
技能•表現 (DP5-2)								
技能·表現 (DP5-3)		<u> </u>						
	+m +n +1		具体的な達	成の目安		(= 144)	4-1		
女女けの世球/四寸	理想的レベル		毎21 フム	ササナク	甘林/四叶		なレベル	∃ ⋩∖≁™	カナフー!
英文法の基礎(用法 らを説明することが 学習した文法知識を	できる。			ができる。)		株•特殊表現 理解可能な		
				きる。 					
			授業	計画					
進行 テーマ・	講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習·復 習時間 (分)	
テーマ: Unit 1-2 Present 1 現在形について解説と演習を行う。			演習 理解しに		文法の説明を読み、 」にくい箇所は文法書で 問題を解く。		120		

				1
			復習: 知らなかった単語や熟語の意味と綴りを覚え、該当部分の文法事項を理解し、間違えた問題を正しく解けるまで繰り返し問題を解く。	
2	テーマ: Unit 3-6 Present and past 現在形、現在進行形、過去形、過去進行形について 解説及び演習を行う。	講義 演習 小テスト	予習: 文法の説明を読み、 理解しにくい箇所は文法書で 調べ、問題を解く。 復習: 知らなかった単語や熟 語の意味と綴りを覚え、該当 部分の文法事項を理解し、間 違えた問題を正しく解けるまで	120
3	テーマ: Unit 7-12 Present perfect and past 1 現在完了形と現在完了進行形について解説及び演習 を行う。	講義 演習 小テスト	繰り返し問題を解く。 予習: 文法の説明を読み、 理解しにくい箇所は文法書で 調べ、問題を解く。 復習: 知らなかった単語や熟 語の意味と綴りを覚え、該当	120
	テーマ: Unit 13-18 Present perfect and past 2	講義	部分の文法事項を理解し、間 違えた問題を正しく解けるまで 繰り返し問題を解く。 予習: 文法の説明を読み、	120
4	現在完了形と過去形、過去完了形、過去完了進行形について解説及び演習を行う。	演習 小テスト	理解しにくい箇所は文法書で調べ、問題を解く。 復習: 知らなかった単語や熟語の意味と綴りを覚え、該当部分の文法事項を理解し、間違えた問題を正しく解けるまで繰り返し問題を解く。	123
5	テーマ: Unit 19-25 Future 未来形、未来進行形、未来完了形について解説と演習を行う。	講義 演習 小テスト	予習: 文法の説明を読み、 理解しにくい箇所は文法書で 調べ、問題を解く。 復習: 知らなかった単語や熟 語の意味と綴りを覚え、該当 部分の文法事項を理解し、間 違えた問題を正しく解けるまで 繰り返し問題を解く。	120
6	テーマ: Unit26-31 Modals 1 can, could, must, can't, may, might, have to について解説と演習を行う。 遠隔授業で実施する。	講義 演習 小テスト	予習: 文法の説明を読み、 理解しにくい箇所は文法書で 調べ、問題を解く。 復習: 知らなかった単語や熟 語の意味と綴りを覚え、該当 部分の文法事項を理解し、間 違えた問題を正しく解けるまで 繰り返し問題を解く。	120
7	テーマ: Unit 32-37 Modals 2 must, mustn't, needn't, should, would について解説と 演習を行う。	講義 演習 小テスト	予習: 文法の説明を読み、 理解しにくい箇所は文法書で 調べ、問題を解く。 復習: 知らなかった単語や熟 語の意味と綴りを覚え、該当 部分の文法事項を理解し、間 違えた問題を正しく解けるまで 繰り返し問題を解く。	120

	T	T		1
	テーマ: Unit38-41 if and wish	講義	予習: 文法の説明を読み、	120
	仮定法について解説と演習を行う。	演習	理解しにくい箇所は文法書で	
		小テスト	調べ、問題を解く。	
			復習: 知らなかった単語や熟	
8			語の意味と綴りを覚え、該当	
			部分の文法事項を理解し、間	
			違えた問題を正しく解けるまで	
			繰り返し問題を解く。	
	= = 11 :140 40 D	=# 羊		100
	テーマ: Unit42-46 Passive	講義	予習:文法の説明を読み、	120
	受動態について解説と演習を行う。	演習	理解しにくい箇所は文法書で	
		小テスト	調べ、問題を解く。	
9			復習: 知らなかった単語や熟	
			語の意味と綴りを覚え、該当	
			部分の文法事項を理解し、間	
			違えた問題を正しく解けるまで	
			繰り返し問題を解く。	
	テーマ: Unit47-52 Reported speech, Questions and	講義	予習:文法の説明を読み、	120
	auxiliary verbs	冊我 演習	理解しにくい箇所は文法書で	. = 0
	話法、疑問文、助動詞、付加疑問文について解説と演		調べ、問題を解く。	
		11.1 VL		
10	習を行う。 		復習: 知らなかった単語や熟	
			語の意味と綴りを覚え、該当	
			部分の文法事項を理解し、間	
			違えた問題を正しく解けるまで	
			繰り返し問題を解く。	
	テーマ: Unit53-58 -ing and to 1	講義	予習: 文法の説明を読み、	120
	動名詞と不定詞について解説と演習を行う。	演習	理解しにくい箇所は文法書で	
		小テスト	調べ、問題を解く。	
			復習: 知らなかった単語や熟	
11			語の意味と綴りを覚え、該当	
			部分の文法事項を理解し、間	
			違えた問題を正しく解けるまで	
			繰り返し問題を解く。	
	テーマ: Unit59-63 -ing and to 2	講義	予習:文法の説明を読み、	120
				120
	動名詞と不定詞を用いた構文について解説と演習を 	演習	理解しにくい箇所は文法書で	
	行う。	小テスト	調べ、問題を解く。	
12			復習: 知らなかった単語や熟	
			語の意味と綴りを覚え、該当	
			部分の文法事項を理解し、間	
			違えた問題を正しく解けるまで	
			繰り返し問題を解く。	
	テーマ: Unit64-68 -ing and to 3	講義	予習: 文法の説明を読み、	120
	動名詞と不定詞の違いについて解説と演習を行う。	演習	理解しにくい箇所は文法書で	
		小テスト	調べ、問題を解く。	
			復習:知らなかった単語や熟	
13			語の意味と綴りを覚え、該当	
			部分の文法事項を理解し、間	
			違えた問題を正しく解けるまで	
			繰り返し問題を解く。	
	ニーフ・エッセー・ニノニ ハ・ゲ	# 羊		100
	テーマ:エッセー・ライティング	講義	予習:文法の説明を読み、	120
	これまで学んだことを元にテーマに沿ったエッセーを	演習 	理解しにくい箇所は文法書で	
14	書く。	小テスト	調べ、問題を解く。	
-			復習: 知らなかった単語や熟	
			語の意味と綴りを覚え、該当	
			部分の文法事項を理解し、間	
				_

				違えた問題を正しく解けるまで 繰り返し問題を解く。			
15	前期の内	これまでの復習とまとめ 容についての質問について答えながら、前 返りを行う。	講義 演習 テスト	予習: 前期の範囲を振り返り、質問があれば事前に用意しておく。練習問題を再度解いておく。	240		
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
理解に必要ない。		高等学校で学習した基本的な語彙や文法の)知識が必要です。				
テキスト		『English Grammar in Use』 Raymond Murphy 著(2019 年) Cambridge University Press 『ロイヤル英文法』 綿貫陽 他著(2000年) 旺文社					
参考図書・教材/ データベース・雑誌 等の紹介							
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ							

達成度評価に関す	試験、小テスト、提出物の内容については、授業の中で指示をする。
るコメント/課題に	
対するフィードバッ	
クの方法	